

年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド 〈愛称 DC Iグロース〉

運用報告書(全体版)

第18期(決算日 2019年4月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド」は、2019年4月25日に第18期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2001年10月25日から原則無期限です。	
運用方針	主として「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI-KOKUSA I インデックス(円ヘッジなし・円ベース)」を上回る投資成果をめざします。	
主要運用対象	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<958417>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時~午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰落 中率	(ベンチマーク)	騰落 中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
14期(2015年4月27日)	18,373	10	26.1	261.10	26.2	94.5	1.5	846
15期(2016年4月25日)	16,349	10	△11.0	235.74	△9.7	93.3	1.6	979
16期(2017年4月25日)	18,570	10	13.6	265.92	12.8	94.7	1.6	1,209
17期(2018年4月25日)	22,032	10	18.7	298.66	12.3	93.2	1.5	1,577
18期(2019年4月25日)	24,705	10	12.2	333.54	11.7	94.4	2.7	2,028

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「MSCI-KOKUSAIインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、日本を除く世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の(円ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2019年4月25日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 証券組入比率
	騰落率	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2018年4月25日	円	%		%	%	%
	22,032	—	298.66	—	93.2	1.5
4月末	22,242	1.0	301.82	1.1	93.1	1.5
5月末	22,835	3.6	303.21	1.5	93.2	1.5
6月末	23,052	4.6	306.01	2.5	93.9	1.6
7月末	23,642	7.3	318.20	6.5	92.7	1.5
8月末	24,253	10.1	325.04	8.8	92.7	1.5
9月末	24,712	12.2	333.56	11.7	93.2	1.5
10月末	21,372	△3.0	304.15	1.8	93.0	1.9
11月末	22,139	0.5	311.10	4.2	90.7	1.8
12月末	19,889	△9.7	278.52	△6.7	92.1	1.9
2019年1月末	21,726	△1.4	296.50	△0.7	92.0	1.8
2月末	23,381	6.1	314.90	5.4	91.7	1.7
3月末	23,468	6.5	317.18	6.2	92.5	2.7
(期末) 2019年4月25日	円	%		%	%	%
	24,715	12.2	333.54	11.7	94.4	2.7

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

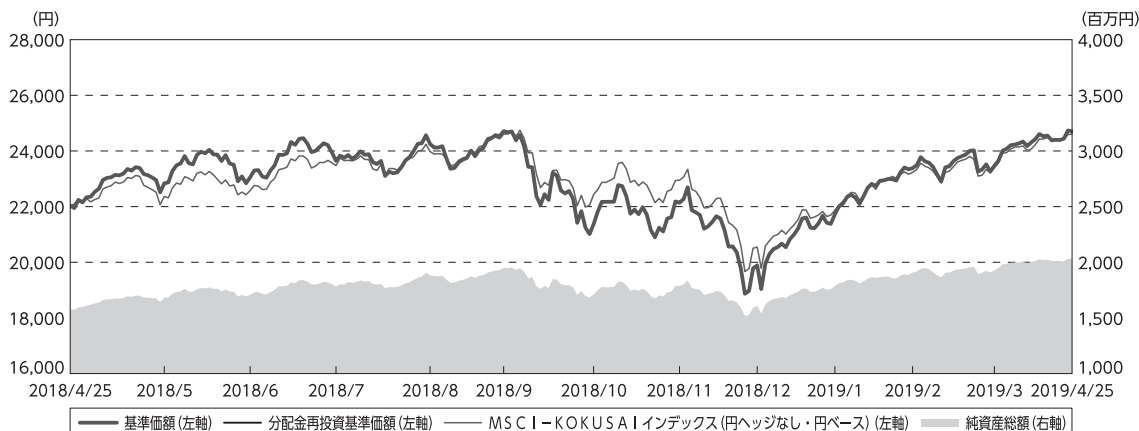
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2018年4月26日～2019年4月25日)

期中の基準価額等の推移



期首：22,032円
 期末：24,705円 (既払分配金 (税込み) : 10円)
 騰落率： 12.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) は、期首 (2018年4月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な観点から、MSCI-KOKUSA Iインデックス (円ヘッジなし・円ベース) の動きを上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米中貿易摩擦の激化が警戒されるなか、米国では好景気と大型減税効果による増益期待が貿易問題のマイナスを吸収できるとの楽観的な見方が広がり、リスクオンの地合いが続いたこと。
- ・米国の金融当局が追加利上げに対して慎重な姿勢を示したことから、投資家心理が改善し、値ごろ感や割安感に着目した買いが広がったこと。
- ・米国の金利上昇を背景に、円安/アメリカドル高が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・米中貿易摩擦や世界景気の減速懸念、欧州の政治混乱によるリスクが意識され、先行き不透明感が台頭したこと。
- ・インフレ加速懸念を背景に米国長期金利が急上昇したことが投資家心理を冷やし、売りが優勢となったこと。また、それまで上昇を牽引してきた情報技術セクターが、2018年10月以降の急落局面で大幅に調整したこと。

投資環境

(株式市況)

期間中のグローバル株式市場は値動きの荒い展開となりましたが、期間の初めと比べて上昇しました。

期間の前半は、前期末のリスクオフ局面からの反発に加えて、好業績や原油高が支援材料となり、堅調に推移しました。米国では米中貿易摩擦を巡る動向が意識されつつも、好景気と大型減税効果による増益期待が貿易問題のマイナスを吸収できるとの楽観的な見方からリスクオンの地合いが継続し、上値を追う展開が続きました。欧州は、ユーロ安の進行を背景に底堅い展開となったのち、英国の欧州連合（EU）離脱を巡る混迷や、域内経済の減速リスク、イタリアの財政不安の台頭により伸び悩みました。2018年10月に入ると、それまで一強だった米国株式が長期金利の急上昇を背景に急落し、米国発の世界同時株安を引き起こしました。その後も米中貿易摩擦による企業業績への影響、世界景気の減速懸念、米国政府機関の一部閉鎖などの不安要素が相つぎ、年末にかけてグローバル株式市場は大幅な調整を強いられましたが、2019年1月上旬に米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めを急がないとの柔軟な姿勢を示したことや、過度の景気減速懸念が和らいだことから投資家心理が改善し、上昇に転じました。米中貿易協議の進展期待や中国株式の上昇も指数を後押ししたほか、米国の主要企業の好決算を背景とした米国株式の堅調が上昇をけん引し、2018年10月以降の急落分を取り戻しました。

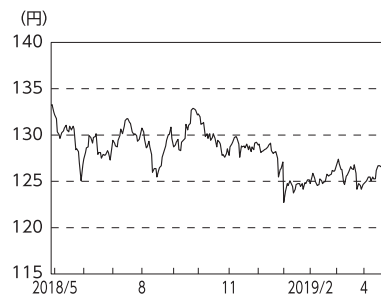
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

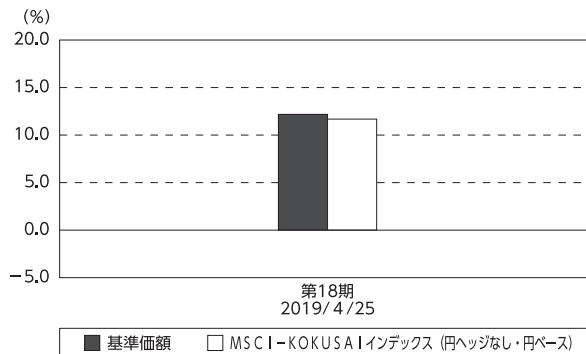
期間中における基準価額は、12.2%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率11.7%を概ね0.5%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

<プラス要因>

- ・銘柄選択では、ヘルスケア、不動産などのセクターにおける銘柄選択がプラスに寄与したこと。
- ・セクター配分では、情報技術セクターのオーバーウェイトや金融セクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与したこと。
- ・個別銘柄では、米国の大手半導体メーカー「Advanced Micro Devices」、米国のインターネット家具販売大手「Wayfair」や、米国の企業向け業務管理ソフトウェア会社「ServiceNow」などの保有がプラスに寄与したこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI-KOKUSA Iインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択では、エネルギー、情報技術などのセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したこと。
- ・セクター配分では、ヘルスケアセクターのアンダーウェイトや公益事業セクターのアンダーウェイトがマイナスに影響したこと。
- ・個別銘柄では、米国の受託製造サービス会社「Flex」や、カナダの石油・ガス会社「Encana」や、ドイツのファッション系eコマース最大手「Zalando」などの保有がマイナスに影響したこと。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2018年4月26日～ 2019年4月25日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.040%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18,424

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き(MSCI-KOKUSA Iインデックス(円ヘッジなし・円ベース))を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2018年4月26日～2019年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 442	% 1.944	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(196)	(0.864)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(221)	(0.972)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(25)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.044	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(10)	(0.043)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.007	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.007)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	31	0.138	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(30)	(0.133)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	485	2.133	
期中の平均基準価額は、22,725円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月26日～2019年4月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド	千口 98,996	千円 279,809	千口 29,927	千円 84,518

○株式売買比率

(2018年4月26日～2019年4月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ベスト・バランス/海外株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,470,359千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,063,705千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.19

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月26日～2019年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年4月26日～2019年4月25日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年4月26日～2019年4月25日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年4月25日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ベスト・バランス／海外株式マザーファンド	571,837	640,906	1,977,388

(注) 親投資信託の2019年4月25日現在の受益権総口数は、640,906千口です。

○投資信託財産の構成

(2019年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ベスト・バランス／海外株式マザーファンド	1,977,388	96.4
コール・ローン等、その他	72,883	3.6
投資信託財産総額	2,050,271	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ベスト・バランス／海外株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,974,401千円)の投資信託財産総額(1,987,660千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=112.28円、1カナダドル=83.20円、1ユーロ=125.18円、1イギリスポンド=144.90円、1スイスフラン=109.96円、1スウェーデンクローナ=11.90円、1ノルウェークローネ=12.98円、1デンマーククローネ=16.77円、1オーストラリアドル=78.76円、1香港ドル=14.32円、1南アフリカランド=7.78円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月25日現在)

○損益の状況 (2018年4月26日～2019年4月25日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,050,271,101
コール・ローン等	72,882,527
ベスト・バランス/海外株式マザーファンド(評価額)	1,977,388,574
(B) 負債	21,452,661
未払収益分配金	821,226
未払解約金	3,078,990
未払信託報酬	17,513,492
未払利息	93
その他未払費用	38,860
(C) 純資産総額(A-B)	2,028,818,440
元本	821,226,324
次期繰越損益金	1,207,592,116
(D) 受益権総口数	821,226,324口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,705円

(注) 当ファンドの期首元本額は716,165,882円、期中追加設定元本額は237,336,148円、期中一部解約元本額は132,275,706円です。

(注) 1口当たり純資産額は2.4705円です。

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 23,085
受取利息	53
支払利息	△ 23,138
(B) 有価証券売買損益	234,822,702
売買益	247,326,200
売買損	△ 12,503,498
(C) 信託報酬等	△ 34,930,859
(D) 当期損益金(A+B+C)	199,868,758
(E) 前期繰越損益金	370,955,128
(F) 追加信託差損益金	637,589,456
(配当等相当額)	(942,623,346)
(売買損益相当額)	(△ 305,033,890)
(G) 計(D+E+F)	1,208,413,342
(H) 収益分配金	△ 821,226
次期繰越損益金(G+H)	1,207,592,116
追加信託差損益金	637,589,456
(配当等相当額)	(943,078,768)
(売買損益相当額)	(△ 305,489,312)
分配準備積立金	570,002,660

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2018年4月26日～2019年4月25日の期間に当ファンドが負担した費用は7,843,334円です。

(注) 分配金の計算過程(2018年4月26日～2019年4月25日)は以下の通りです。

項 目	2018年4月26日～ 2019年4月25日
a. 配当等収益(経費控除後)	19,700,769円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	180,167,989円
c. 信託約款に定める収益調整金	943,078,768円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	370,955,128円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,513,902,654円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	18,434円
g. 分配金	821,226円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

○お知らせ

約款変更について

2018年4月26日から2019年4月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年1月26日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第56条の2)
- 当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2019年1月26日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(附表)

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

ベスト・バランス／海外株式マザーファンド

運用報告書

第18期（決算日 2019年4月25日）
（2018年4月26日～2019年4月25日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2001年4月27日から原則無期限です。
運用方針	中長期的な観点から、「MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース）」を上回る投資成果の獲得をめざします。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざします。

投資対象銘柄については、グローバルな視点で企業調査、比較を行ない、産業の先導的立場にある高い質の大型成長企業に厳選投資をします。また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減につとめます。

株式の組入比率は原則として高位を維持します。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行なうことがあります。為替ヘッジ比率は、マクロ環境、金利動向、ヘッジコストなどを勘案して決定します。また、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。

ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<935859>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	(ベンチマーク)	期騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
14期(2015年4月27日)	21,026	29.1	229.65	26.2	96.9	1.5	2,029
15期(2016年4月25日)	19,023	△ 9.5	207.35	△ 9.7	95.6	1.7	1,899
16期(2017年4月25日)	22,119	16.3	233.88	12.8	97.1	1.7	2,071
17期(2018年4月25日)	26,886	21.6	262.68	12.3	95.6	1.6	2,402
18期(2019年4月25日)	30,853	14.8	293.37	11.7	96.9	2.8	1,977

(注)「MSCI-KOKUSAIインデックス」は、「MSCI Inc.」が発表している、日本を除く世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。(円ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。なお、設定時を100として2019年4月25日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)		株組入比率	投資信託 組入比率
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年4月25日	26,886	—	262.68	—	95.6	1.6
4月末	27,153	1.0	265.47	1.1	95.6	1.6
5月末	27,950	4.0	266.68	1.5	96.4	1.5
6月末	28,264	5.1	269.15	2.5	96.7	1.6
7月末	29,062	8.1	279.87	6.5	95.6	1.6
8月末	29,888	11.2	285.89	8.8	95.9	1.6
9月末	30,518	13.5	293.38	11.7	96.4	1.5
10月末	26,320	△ 2.1	267.51	1.8	96.4	2.0
11月末	27,341	1.7	273.63	4.2	93.5	1.8
12月末	24,528	△ 8.8	244.97	△ 6.7	95.2	1.9
2019年1月末	26,909	0.1	260.78	△ 0.7	94.9	1.8
2月末	29,057	8.1	276.97	5.4	95.0	1.8
3月末	29,212	8.7	278.97	6.2	95.5	2.8
(期末)						
2019年4月25日	30,853	14.8	293.37	11.7	96.9	2.8

(注)騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年4月26日～2019年4月25日)

基準価額の推移

期間の初め26,886円の基準価額は、期間末に30,853円となり、騰落率は+14.8%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・米中貿易摩擦の激化が警戒されるなか、米国では好景気と大型減税効果による増益期待が貿易問題のマイナスを吸収できるとの楽観的な見方が広がり、リスクオンの地合いが続いたこと。
- ・米国の金融当局が追加利上げに対して慎重な姿勢を示したことから、投資家心理が改善し、値ごろ感や割安感に着目した買いが広がったこと。
- ・米国の金利上昇を背景に、円安／アメリカドル高が進行したこと。

＜値下がり要因＞

- ・米中貿易摩擦や世界景気の減速懸念、欧州の政治混乱によるリスクが意識され、先行き不透明感が台頭したこと。
- ・インフレ加速懸念を背景に米国長期金利が急上昇したことが投資家心理を冷やし、売りが優勢となったこと。また、それまで上昇を牽引してきた情報技術セクターが、2018年10月以降の急落局面で大幅に調整したこと。

(株式市況)

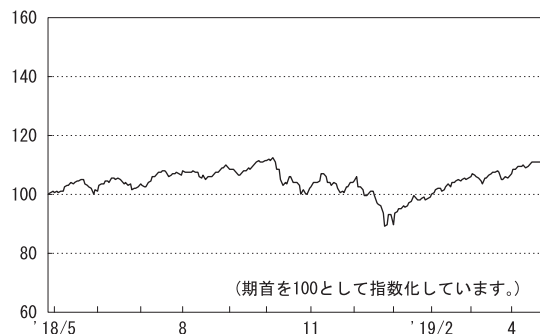
期間中のグローバル株式市場は値動きの荒い展開となりましたが、期間の初めと比べて上昇しました。

期間の前半は、前期末のリスクオフ局面からの反発に加えて、好業績や原油高が支援材料となり、堅調に推移しました。米国では米中貿易摩擦を巡る動向が意識されつつも、好景気と大型減税効果による増益期待が貿易問題のマイナスを吸収できるとの楽観的な見方からリスクオンの地合いが継続し、上値を追う展開が続きました。欧州は、ユーロ安の進行を背景に底堅い展開となったのち、英国の欧州連合（EU）離脱を巡る混迷や、域内経済の減速リスク、イタリアの財政不安の台頭により伸び悩みました。2018年10月に入ると、それまで一強だった米国株式が長期金利の急上昇を背景に急落し、米国発の

基準価額の推移



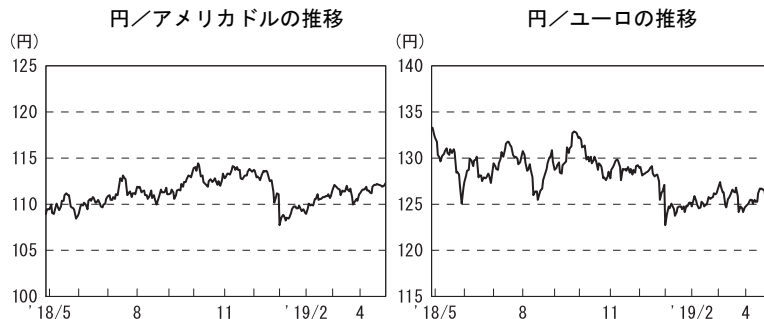
期首	期中高値	期中安値	期末
2018/04/25	2019/04/24	2018/12/25	2019/04/25
26,886円	30,881円	23,230円	30,853円

MSCI-KOKUSAI インデックス
(円ヘッジなし・円ベース) (指数化) の推移

世界同時株安を引き起こしました。その後も米中貿易摩擦による企業業績への影響、世界景気の減速懸念、米国政府機関の一部閉鎖などの不安要素が相つぎ、年末にかけてグローバル株式市場は大幅な調整を強いられました。2019年1月上旬に米国連邦準備制度理事会（FRB）が金融引き締めを急がないとの柔軟な姿勢を示したことや、過度の景気減速懸念が和らいだことから投資家心理が改善し、上昇に転じました。米中貿易協議の進展期待や中国株式の上昇も指数を後押ししたほか、米国の主要企業の好決算を背景とした米国株式の堅調が上昇をけん引し、2018年10月以降の急落分を取り戻しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSA I インデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、14.8%の値上がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSA I インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率11.7%を概ね3.1%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

<プラス要因>

- ・銘柄選択では、ヘルスケア、不動産などのセクターにおける銘柄選択がプラスに寄与したこと。
- ・セクター配分では、情報技術セクターのオーバーウェイトや金融セクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与したこと。
- ・個別銘柄では、米国の大手半導体メーカー「Advanced Micro Devices」、米国のインターネット家具販売大手「Wayfair」や、米国の企業向け業務管理ソフトウェア会社「ServiceNow」などの保有がプラスに寄与したこと。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択では、エネルギー、情報技術などのセクターにおける銘柄選択がマイナスに影響したこと。
- ・セクター配分では、ヘルスケアセクターのアンダーウェイトや公益事業セクターのアンダーウェイトがマイナスに影響したこと。
- ・個別銘柄では、米国の受託製造サービス会社「Flex」や、カナダの石油・ガス会社「Encana」や、ドイツのファッション系eコマース最大手「Zalando」などの保有がマイナスに影響したこと。

○今後の運用方針

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSA I インデックス（円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年4月26日～2019年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 12 (12) (0)	% 0.042 (0.042) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	37 (37) (0)	0.132 (0.131) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	51	0.181	
期中の平均基準価額は、28,016円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月26日～2019年4月25日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 865 (22)	千アメリカドル 6,238 (-)	百株 1,475	千アメリカドル 10,065
	カナダ	227	千カナダドル 277	214	千カナダドル 441
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	13	32	130	522
	イタリア	29	22	307	303
	フランス	0.67	4	40	198
	オランダ	60	597	5	59
	スペイン	10	16	460	355
	ポルトガル	11	17	48	75
	イギリス	62	千イギリスポンド 98	221	千イギリスポンド 364
国	スイス	92 (11)	千スイスフラン 701 (21)	164 (5)	千スイスフラン 538 (28)
	スウェーデン	34 (226)	千スウェーデンクローナ 918 (1,285)	161 (150)	千スウェーデンクローナ 2,458 (1,338)
	香港	105 (-)	千香港ドル 1,362 (△0.145)	325	千香港ドル 2,355

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ		千アメリカドル		千アメリカドル
	AMERICAN TOWER CORP	69	10	947	142
	ISHARES MSCI TAIWAN-ETF	4,600	155	-	-
	小 計	4,669	166	947	142

(注) 金額は受け渡し代金。

○株式売買比率

(2018年4月26日～2019年4月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,470,359千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,063,705千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.19

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月26日～2019年4月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年4月26日～2019年4月25日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2019年4月25日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	—	31	236	26,575	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMERICAN EXPRESS CO	—	23	268	30,123	各種金融
BANK OF AMERICA CORP	178	80	243	27,288	銀行
ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR	15	15	296	33,292	小売
BOSTON SCIENTIFIC CORP	96	44	159	17,898	ヘルスケア機器・サービス
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	63	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CONSTELLATION BRANDS INC-A	—	12	265	29,823	食品・飲料・タバコ
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	28	15	276	31,050	ヘルスケア機器・サービス
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	12	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
FORTUNE BRANDS HOME & SECURI	42	—	—	—	資本財
GENERAL DYNAMICS CORP	12	12	233	26,197	資本財
HDFC BANK LTD-ADR	29	18	214	24,134	銀行
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	26	28	247	27,754	消費者サービス
HOME DEPOT INC	—	14	292	32,796	小売
LOCKHEED MARTIN CORP	11	8	268	30,134	資本財
MASTERCARD INC	18	12	306	34,453	ソフトウェア・サービス
MICRON TECHNOLOGY INC	47	—	—	—	半導体・半導体製造装置
NEWFIELD EXPLORATION CO	102	—	—	—	エネルギー
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP-ADR	19	—	—	—	消費者サービス
NIKE INC -CL B	52	31	278	31,252	耐久消費財・アパレル
PENUMBRA INC	—	10	140	15,766	ヘルスケア機器・サービス
PINTEREST INC- CLASS A	—	46	123	13,871	メディア・娯楽
SALESFORCE.COM INC	39	22	358	40,220	ソフトウェア・サービス
SCHLUMBERGER LTD	—	52	231	26,018	エネルギー
SERVICENOW INC	29	15	385	43,300	ソフトウェア・サービス
SPOTIFY TECHNOLOGY SA	14	16	229	25,795	メディア・娯楽
TD AMERITRADE HOLDING CORP	72	54	284	31,949	各種金融
TJX COMPANIES INC	33	43	242	27,223	小売
UNDER ARMOUR INC-CLASS A	—	103	235	26,415	耐久消費財・アパレル
WAYFAIR INC- CLASS A	27	12	192	21,562	小売
ANTHEM INC	—	9	236	26,547	ヘルスケア機器・サービス
ADOBE INC	22	12	357	40,174	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	192	113	324	36,396	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC	4	4	842	94,593	小売
AUTODESK INC	27	16	290	32,604	ソフトウェア・サービス
BLUEBIRD BIO INC	—	12	169	19,058	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DEXCOM INC	32	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
PAYPAL HOLDINGS INC	55	37	399	44,844	ソフトウェア・サービス
ELECTRONIC ARTS INC	—	23	220	24,704	メディア・娯楽
FACEBOOK INC-CLASS A	36	13	250	28,126	メディア・娯楽
FASTENAL CO	48	—	—	—	資本財
FLEX LTD	174	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
GILEAD SCIENCES INC	—	29	187	21,054	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALPHABET INC-CL C	8	5	675	75,870	メディア・娯楽
INTUITIVE SURGICAL INC	—	1	66	7,417	ヘルスケア機器・サービス
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	—	68	175	19,703	半導体・半導体製造装置

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	金額			
		株数	金額			
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
MELCO RESORTS & ENTERT-ADR	79	—	—	—	消費者サービス	
T-MOBILE US INC	45	37	275	30,941	電気通信サービス	
MICROSOFT CORP	47	52	661	74,265	ソフトウェア・サービス	
MONSTER BEVERAGE CORP	50	39	225	25,365	食品・飲料・タバコ	
NETFLIX INC	11	6	254	28,572	メディア・娯楽	
VIDIA CORP	16	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
BOOKING HOLDINGS INC	1	—	—	—	小売	
SEATTLE GENETICS INC	—	25	174	19,608	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SPLUNK INC	—	15	210	23,645	ソフトウェア・サービス	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	2	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
YANDEX NV-A	72	64	243	27,329	メディア・娯楽	
SAMSUNG ELECTR REG S-GDR	3	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,909 42	1,321 44	12,252 —	1,375,725 <69.6%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATL RAILWAY CO	36	24	312	26,023	運輸	
ENCANA CORP	279	322	327	27,228	エネルギー	
FIRST QUANTUM MINERALS LTD	186	169	261	21,779	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	502 3	516 3	901 —	75,031 <3.8%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
INFINEON TECHNOLOGIES AG	135	101	217	27,188	半導体・半導体製造装置	
VOLKSWAGEN AG-PFD	15	—	—	—	自動車・自動車部品	
ZALANDO SE	67	—	—	—	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	218 3	101 1	217 —	27,188 <1.4%>	
(ユーロ…イタリア)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO SPA	358	215	189	23,774	食品・飲料・タバコ	
UNICREDIT SPA	135	—	—	—	銀行	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	493 2	215 1	189 —	23,774 <1.2%>	
(ユーロ…フランス)						
BNP PARIBAS	39	—	—	—	銀行	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	39 1	— —	— —	— <-%>	
(ユーロ…オランダ)						
AIRBUS GROUP SE	—	19	241	30,242	資本財	
FERRARI NV	—	17	211	26,507	自動車・自動車部品	
HEINEKEN NV	—	17	170	21,300	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	54 3	623 —	78,049 <3.9%>	
(ユーロ…スペイン)						
BANCO SANTANDER SA	378	—	—	—	銀行	
INDITEX	70	—	—	—	小売	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	449 2	— —	— —	— <-%>	
(ユーロ…ポルトガル)						
GALP ENERGIA SGPS SA-B SHRS	149	112	168	21,113	エネルギー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	149 1	112 1	168 —	21,113 <1.1%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,350 9	484 6	1,199 —	150,125 <7.6%>	

銘柄	株数	株数	当期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千イギリスポンド	千円	
ASTRAZENECA PLC	44	34	202	29,414	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BHP GROUP PLC	169	100	185	26,945	素材
DIAGEO PLC	86	63	201	29,213	食品・飲料・タバコ
JUST EAT PLC	229	172	127	18,537	小売
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	530 4	371 4	718 -	104,110 <5.3%>
(スイス)			千スイスフラン		
ABB LTD-REG	113	-	-	-	資本財
JULIUS BAER GROUP LTD	53	50	251	27,669	各種金融
NOVARTIS AG-REG	-	31	249	27,454	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	-	18	137	15,164	耐久消費財・アパレル
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	166 2	100 3	639 -	70,288 <3.6%>
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ		
ASSA ABLOY AB-B	117	80	1,706	20,310	資本財
ATLAS COPCO AB-A SHS	74	60	1,727	20,551	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	192 2	141 2	3,433 -	40,862 <2.1%>
(香港)			千香港ドル		
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	250	195	1,835	26,290	保険
SANDS CHINA LTD	532	364	1,556	22,283	消費者サービス
SUNNY OPTICAL TECH	123	136	1,365	19,553	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
TENCENT HOLDINGS LTD	65	55	2,161	30,952	メディア・娯楽
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	970 4	750 4	6,918 -	99,079 <5.0%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,621 66	3,684 66	1,915,222 -	<96.9%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄	口数	口数	当期末		比率
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千アメリカドル	千円	%
AMERICAN TOWER CORP	2,541	1,663	321	36,080	1.8
ISHARES MSCI TAIWAN-ETF	-	4,600	165	18,541	0.9
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	2,541 1	6,263 2	486 -	54,622 <2.8%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2019年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,915,222	96.4
投資信託受益証券	18,541	0.9
投資証券	36,080	1.8
コール・ローン等、その他	17,817	0.9
投資信託財産総額	1,987,660	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（1,974,401千円）の投資信託財産総額（1,987,660千円）に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=112.28円、1カナダドル=83.20円、1ユーロ=125.18円、1イギリスポンド=144.90円、1スイスフラン=109.96円、1スウェーデンクローナ=11.90円、1ノルウェークローネ=12.98円、1デンマーククローネ=16.77円、1オーストラリアドル=78.76円、1香港ドル=14.32円、1南アフリカランド=7.78円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,987,660,285
コール・ローン等	11,577,128
株式(評価額)	1,915,222,652
投資信託受益証券(評価額)	18,541,919
投資証券(評価額)	36,080,222
未収入金	5,518,911
未収配当金	719,453
(B) 負債	10,258,910
未払金	10,258,907
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	1,977,401,375
元本	640,906,419
次期繰越損益金	1,336,494,956
(D) 受益権総口数	640,906,419口
1万口当たり基準価額(C/D)	30,853円

(注) 当ファンドの期首元本額は893,553,212円、期中追加設定元本額は102,421,118円、期中一部解約元本額は355,067,911円です。

(注) 2019年4月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・年金積立国際ナショナル・グロス・ファンド 640,906,419円

(注) 1口当たり純資産額は3,0853円です。

○損益の状況 (2018年4月26日～2019年4月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	28,150,524
受取配当金	24,452,450
受取利息	653,584
その他収益金	3,046,695
支払利息	△ 2,205
(B) 有価証券売買損益	240,983,370
売買益	472,707,070
売買損	△ 231,723,700
(C) 保管費用等	△ 2,830,714
(D) 当期損益金(A+B+C)	266,303,180
(E) 前期繰越損益金	1,508,897,069
(F) 追加信託差損益金	186,822,120
(G) 解約差損益金	△ 625,527,413
(H) 計(D+E+F+G)	1,336,494,956
次期繰越損益金(H)	1,336,494,956

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2018年4月26日から2019年4月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2019年1月26日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(附表)